

瑞穂市少年少女消防クラブ員に防災講座を行いました

防災講座の前半戦が終了しました。33校約2,400人の児童・生徒に受講いただきました。学校は夏休みに入り、後半戦は9月1日スタートです。

令和8年7月18日（土）、瑞穂市巣南公民館で瑞穂市少年少女消防クラブ員の17名に防災講座を行いました。瑞穂市は長良川・揖斐川・根尾川など大河川に囲まれ、中小河川も複数流れています。

講座では、瑞穂市でも被害のあった伊勢湾台風や今年で発生から50年の節目を迎える9.12豪雨災害など過去の水害について学習しました。9.12豪雨災害では200cm以上浸水した記録もあり、市内には浸水位標示板が建てられています。

また、伊勢湾台風A1語り部との対話体験や水防災A1カードクイズなどの体験も行いました。A1語り部には「瑞穂市はどんな被害を受けましたか?」「トイレはどうしていましたか?」などの質問から伊勢湾台風への理解を深め、カードクイズではグループで話し合いながら回答を決めて備蓄品や避難行動の確認をしました。

今回の講座が、クラブ員たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子はケーブルテレビCCNに取材頂きました。

